

平成28年省エネルギー基準対応 JIS Q 17050-1に基づく自己適合宣言書（附属書）

自己適合宣言書文書番号	ST73002	附属書番号	ABN0375A1
発行者の名称	三協立山株式会社 三協アルミ社		
作成日	2022年2月25日	改訂日	2022年12月8日
商品	スマージュII		
仕様	複層ガラス		
窓種	・引違い窓 窓タイプ/テラスタイプ ・両袖片引き窓		

■本附属書は、自己適合宣言書と合わせてお使いください。

（開口部の熱貫流率）  
 ・試験値はJIS A 4710に基づく試験により測定した代表試験体の熱貫流率です。  
 ・計算値はJIS A 2102に基づき社内算出した代表試験体の熱貫流率です。  
 ・付属部材が付与される場合の開口部の熱貫流率は、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」の「第三節 熱貫流率及び線熱貫流率 5.2.2 付属部材が付与される場合および 5.2.3 風除室に面する場合」に基づく値です。  
 ・代表試験体は、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」の「窓・ドアの熱貫流率に試験体と同等の性能を有すると認められる評価品の範囲を定める基準」に基づきます。  
 ・記載されている内容は、製品の仕様変更等により、予告無く修正する場合がありますのであらかじめご了承ください。

（日射熱取得率）  
 ・国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」の「第四節 日射熱取得率 6 大部分がガラスで構成されている窓等の開口部 および 7 大部分がガラスで構成されていないドア等の開口部」に基づく値です。  
 ・開口部の日射熱取得率は、ガラスの日射熱取得率に0.72の係数を掛けた値です。（小数第三位以下四捨五入）  
 ・当社ホームページ内「①建具とガラスの組み合わせ」の「開口部の熱貫流率・日射熱取得率」の値もご使用いただけます。  
 ・住宅の仕様基準判断にご使用の場合は、<住宅 仕様基準判断用日射熱取得率（ガラスの日射熱取得率）>をご使用ください。

■ ガラス構成ごとの開口部の熱貫流率区分・開口部の日射熱取得率		アルゴンガス入り						
		一般ガラス						
		透明			型			
ガラス構成	室外ガラス厚	3	4	5	型4	型4	型4	
	中空層厚	16	14	12	15	14	13	
	室内ガラス厚	3	4	5	3	4	5	
熱貫流率区分	Low-E	グリーン	A	A	B	A	A	A
		グリーン(高遮熱型)	A	A	B	A	A	A
		クリア	A	A	B	A	A	B
		ブロンズ	A	A	B	A	A	B
日射熱取得率	Low-E	グリーン	0.33	0.32	0.32	0.33	0.32	0.32
		グリーン(高遮熱型)	0.27	0.27	0.27	0.27	0.27	0.27
		クリア	0.42	0.41	0.41	0.42	0.41	0.41
		ブロンズ	0.31	0.31	0.30	0.31	0.31	0.30
	①建具とガラスの組み合わせ	日射取得型（ガラスの日射熱取得率0.5以上）	0.46	0.46	0.46	0.46	0.46	0.46
	日射遮蔽型（ガラスの日射熱取得率0.5未満）	0.29	0.29	0.29	0.29	0.29	0.29	

<住宅 仕様基準判断用日射熱取得率（ガラスの日射熱取得率）>

日射熱取得率	Low-E	グリーン	0.46	0.45	0.45	0.46	0.45	0.45
		グリーン(高遮熱型)	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38
		クリア	0.59	0.57	0.57	0.58	0.57	0.57
		ブロンズ	0.43	0.43	0.42	0.43	0.43	0.42

開口部の熱貫流率

樹脂スペーサー仕様							
区分記号	ガラス中央部の熱貫流率 [W/m <sup>2</sup> K]	開口部の熱貫流率 [W/m <sup>2</sup> K]				試験値	計算値
		付属部材無し	シャッター・雨戸付	和障子付	風除室あり		
A	1.2 以下	1.35	1.27	1.22	1.19	○	
B	1.4 以下	1.61	1.50	1.43	1.39	○	

※本書に記載の無いガラスを適用する場合は上表「開口部の熱貫流率」のガラス中央部の熱貫流率の値より性能値を参照してください。